

昭和二十年三月一日

圖書

24217

三月一日南西空襲戰劇詳報

電信第三十五聯隊

⑩

(12)

三月一日敵機空襲戰鬥要報

昭三〇、三一  
球第三六部隊

目次

- 一 敵機來襲前狀況ト之ニ基テ各部隊處置
- 二 天候氣象概要
- 三 敵機來襲狀況ト我々邊擊戰鬥狀況
- 四 沖繩本島地区  
不其他地区
- 五 敵機、機種、機数及攻撃法
- 六 戦果
- 七 我方、損害、概要
- 八 射撃、機数
- 九 官民、治安狀況
- 一〇 敵機來襲前狀況ト之ニ基テ各部隊處置軍ハ左記諸情報ヲ  
綜合シ敵機動部隊ノ大率來襲ヲ予想シ、警戒戒及戰鬥準備  
備ヲ嚴シキアリ
- 左記
- 一 敵機動部隊、主力ハ十九日、二十日、二十一度十分、二百四十二度五分

24210

10

分ニ判定セラレ爾後南西諸島方面ニ対スル策動企圖依然警戒ヲ要ス

機動部隊主力ハ十九日一二三七短時間電波ヲ輻射セルモ爾後電波管制シテテ硫黄島方面策動部トハ關聯特ニ密接ナラス

敵機動部隊ハ二十六日頃本土近海ヨリ脱去シ次期作戰準備中ナルモノ如シ

廈門情報ニ依ルニ二十八日以後在支及太平洋方面米空軍ハ本土及南西諸島、台灣ノ爆撃ヲ企圖シアルモノ如シ

「マリヤナ」基地ヨリスル「B29」ノ哨戒(偵察)ハ近次特異ニシテ二十七日一機ヲ以テ那覇港ノ船舶ヲ爆撃ス 二十八日五機ヲ以テ〇九〇一〇三〇ノ間高々度ナルモ綿密ニ本島上空ヲ偵察ス

天候氣象ノ概要

南西諸島全地区トモ概ネ中層雲(二〇〇米)及下層雲(七〇米)

下リテ雲量ハ内外ナルモ午後ニ至リ下層雲増加ス

沖繩本島ニ在リテハ四〇〇米以下ノ層積雲全天ヲ覆フ

敵機來襲狀況ト我々邀撃戰鬥狀況

沖繩本島地区

〇六五六電波警告機機首里基卓一ニ六度七〇分ニ敵機編隊ヲ察知ス

軍ハ〇七〇〇南西諸島全地区ニ空襲警告報ヲ發令シ邀撃戰鬥ニ入ル〇七〇四第一波約一五〇機爾後八次ニ亘リ延六七五機ヲ以テ主トシテ飛行場船舶ニ對シ執拗ナル銃爆撃ヲ實施ス

本空襲ニ於テ一部高射砲陣地ニ對シ攻撃ヲ行ヒタルハ稍ハ特異ナリ

那覇港内ニ在リタル船舶ニ對シテハ機ヲ失セズ煙幕ヲ展張シ敵機ノ直撃ヲ避ケ損害ニ或少ニ努ム

高射部隊ハ敵機ニ亘ル敵ノ跳梁下志氣益々旺盛、既往ノ教訓ニ鑑ミ隊長以下渾然一体ノ實ヲ舉ゲテ天候我々不利ナルニ拘ラ

ス雲墜三八機、爆撃機ニ九ノ戰果ヲ收メタリ

一六三〇敵機、近接ナキヲ以テ空襲警告報ヲ解除ス

各離島地区

(4) 大東地区

〇七三〇一三三〇ノ間延九ニ機ヲ以テ飛行場及陣地ニ對シ銃

爆撃及焼夷彈ヲ投下ス所在部隊ハ之ト交戦、雲墜八機

、雲破二五機、戰果ヲ擧ゲ、損害ハ極メテ輕微ナリ

二二四二一〇一五間延五ノ六隻ノ艦艇沖大東島二百十度三

(四) 料海上ヨリ艦砲射撃約三百発ヲ加フ  
海軍艦一五三〇ノ間四次ニ亘リ延ニ三九機ヲ以テ主トシテ

四隻沈没ス  
德之島地区  
〇七五〇ノ間ニ亘リ延ニ三九機ヲ以テ主トシテ飛

ニ対シテ攻撃ス 飛行場ニ約三〇發ノ投擲アリタルモ直ニ修復  
使用ニ支障ナシニ機墜五機ヲ撃破ス

(三) 宮古地区  
〇七三〇一〇七七ノ間延ニ六〇機ヲ以テ飛行場、港灣、船舶ニ対シ  
爆撃ス 船舶ニ隻沈没所ニ部隊ハ之ト交戦其ノ二機

墜ス  
石垣地区  
十二機來襲シ飛行場ニ対シ銃爆撃ヲ實施スルモ損害

微ニシテ飛行場ノ使用ニ支障ナシニ機ヲ墜ス  
敵機ノ機種、機数、裝備及攻撃法  
「F六F」「TBF」「SBT」ヲ主トシ通常三機宛ノ編隊

ヨリ三機編隊ノ十二機ヲ一群トスヲ以テ一機宛ノ急降ヲ  
襲フ其ノ能ス

本日ハ雲高極メテ低ク敵機ハ絶ヘズ雲上又ハ雲中ヲ利用シ行動  
シアルヲ以テ高射部隊ノ射撃ヲ著レク阻害ス

又敵ハ絶ヘズ「プロット」耐水上機ヲ飛翔セシメ海上ニ襲撃セシ  
レ浮上シアル搭乗員ノ救助ニ任レアリ此ノ場合上空ニ絶  
ヘズ二三機ヲ以テ掩護ス

五 潜水艦ノ状況  
本日近海ニ敵潜水艦ノ活動ヲ見ス

六 戦果  
襲撃機七機 撃破五六機  
七 目下判明セル損害ノ概要を、如シ

戦死 下士官 二名 兵 二〇名 計 二二名  
戦傷 將 一 下士官 七名 兵 三五名 計 四三名  
飛行場ハ各地トモ相當ノ被弾アリタルモ沖繩本島ニアリテハ  
二四〇〇迄修理完了シ滑走路等飛行機ノ使用ニ支障  
ナシ

三 飛行機四機炎上又ハ内修理機一ヲ含ム

四 船舶ノ損害

二八〇其ノ他ニ在リテハ

輸送船六隻沈没、機帆船、沈没ハ六隻ナルモ損害増加

見込

兵舎二棟 倉庫一棟ナルモ民家約二〇〇火炎上ス

八 民側死傷三五名

八 射耗彈ノ概数左ノ如シ(沖繩本島ノミ)

高射砲彈 一六四〇発

機関砲彈 八二七七発

九 官民ノ動向

近時敵陸侵攻等ニ関シ一部ニ不安動搖ノ徴アリタルモ一般

ニ志氣極メテ旺盛ニシテ軍民一体ノ實ヲ上ゲツツアリ

軍ノ縣側ニ對シ通時情報ヲ傳ヘ冷静ニ行動スルヲ治安上良

慮スルキ事象ナリ

十 戦訓

沖繩本島地区ニ於ケルカ如キ天象狀況ハ急降下爆雲機ニ對シ

対空兵器ノ待集集中射撃ノ實施ヲ困難ナラシムルコト大ナリ

艦砲射撃ノ築城ノ利用ト分散速散ニ努ムルハ損害極メテ

微ナリ

八 那覇港内船舶損害殆皆無ナリシハ対空兵器ノ威力圈ニ在リシコト